

様式第11号（第9条関係）

## 実績報告書

19年4月13日

市川市長

団体名 国分川鯉のぼり実行委員会  
代表者名 会 田 智 信  
所在地 市川市国分7-11-21  
電 話 047(373)3397

平成18年7月4日付け市川第20060630-0174号をもって交付決定のあった市川市市民活動団体支援金に係る実績報告について、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第15条第1項の規定により提出します。

### 記

1. 事業費総額 1,401,264 円
2. 交付決定額 121,529 円
3. 添付書類
  - (1) 支援決定事業収支決算書（様式第12号）
  - (2) その他市長が必要と認める書類



[事業報告書]

<p>事業の名称</p>	<p>国分川鯉のぼりフェスティバル</p>
<p>事業の実施時期 実施場所・内容</p>	<p>平成18年4月～5月 東国分3丁目 国分川調節池・国分川関下橋付近(市道第2026号) 4/29～5/5まで 国分川沿い及び調節池に鯉のぼり500流掲揚 5/4 イベント 式典・演芸・模擬店・フリーマーケット</p>
<p>事業の成果</p>	<p>国分川関下橋及び国分川調節池(上流部)周辺に4月29日から5月5日までの1週間、約500匹の鯉のぼりを掲揚、5月4日をイベント当日とし、模擬店・フリーマーケットなど約20店舗が出店、又地域の学校、団体による演奏、演芸等の発表(約15団体)</p> <p>参加者(見物客)へのつきたてお餅の無料配布(約2000パック)未就学児童へのミニ鯉のぼりの進呈(約400)</p> <p>ここ3～4年は地域の小学生の課外授業での見学、や幼稚園・保育園及び高齢者介護施設からの見学が多く見られる。</p> <p>見物客層は市内はもとより近隣市や他県(インターネット・ホームページ)からも来場が増えてきている。</p> <p>市川市の初夏の風物詩として定着しつつある。</p> <p>市民が選ぶいちかわ景観100選にも選定された。</p> <p>(一地域の行事が選定されたのは、行徳みこし祭りと同分川鯉のぼりフェスティバルの2件である。</p>
<p>課題(今後の方向)</p>	<p>期間内 4/29～5/5までに会場の来場者(見学者)は約5000人。 今後は、まだ見学者は多少増えると思われる。</p> <p>現在は、まだ稲越自治会、国分七丁目自治会の両2自治会で行っているが規模が大きくなり、又作業人(実行委員)の高齢化等が問題になってきている人の問題はこれからの課題である。</p> <p>又、会場には、従来行っている国分川(関下橋付近)及び国分川調節池(上流部)で行えるような場所の施設が望まれる。</p>

様式第12号(第9条関係)

## 支援決定事業収支決算書

事業の名称：国分川鯉のぼりフェスティバル

### 1. 【収 入】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
補助金	100,000	稲越自治会・国分7丁目自治会より
寄付金収入	583,000	地域商店会・近隣企業から
事業収入	596,735	模擬店売上(焼きそば・焼き鳥・飲み物)
補助金	121,529	市川市市民活動団体支援金
合計	1,401,264	

### 2. 【支 出】

(単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
会場設営費	82,238	会場設営に使用する資材購入等関係費
記念品代	233,445	ミニ鯉のぼり、配布用餅等の関連経費
謝礼代	482,800	スタッフ延350人弁当代当、物品提供者お礼
広報費	41,418	ポスター、横断幕作成、連絡文書関係費
食材費	525,061	模擬店用材料費関係
事務費	36,302	コピー他事務用品関係
合計	1,401,264	

※ 領収書を添付してください。